

野田ロータリークラブ週報

第 3045 回例会 (9 月 5 日)

第3037号 2022.9.12 発行



イマジジン ロータリー

2022-23年度 ロータリーのテーマ

地区: 「ロータリーの仲間との信頼を繋ぎ、千葉から世界を変えていこう！」
野田: 「今こそロータリー」

■創立: 昭和31年5月 ■例会日: 毎週月曜日 PM12:30~13:30

例会場 事務局 野田商工会館内5F(櫻のホール)

〒278-0035 野田市中野台168-1 TEL 04(7125)0061 FAX 04(7125)0055

会 長: 浅野 泰泉 幹 事: 森下 芳夫

会長エレクト: 三浦 直哉 副 幹 事: 白島 智子

副 会 長: 古谷 光裕 発行責任者: 伊東 真也

第3045回 例会

点 鐘 浅野 泰泉 会長
司 会 山本 和広 会員
ソ ン グ 君が代・奉仕の理想

会 長 挨 拶 浅野 泰泉 会長



今、野田ロータリークラブ10周年の記念誌を読みこんでいます。10周年の会長茂木佐平治様の挨拶文をご紹介します。

十周年を迎えて

野田ロータリークラブも本年度で十周年を迎えました。メンバーの皆様と共に御同慶に存じます。又この輝かしい年度に会長をさせて戴いた幸運に非常な感激を覚えその責任を痛感して居る次第です。国際ロータリーの歴史も、ポールハリスが初めてロータリークラブを設立してから昨年60年になり其の間苦心と努力を重ねられ今日の如き全世界に行き渡った大きな組織に発展し、奉仕活動の目覚しい足跡を残したのであります。千葉県に誕生した我が野田ロータリークラブも既にその6分の1に相当する年月を過ぎて参りました。此の10年間を振り返って見て創立当時から今日迄、ロータリークラブとしての活動と発展を秘かに反省する時、正直な処必ずしも満足すべきものであったとは言えないかも知れません。それは都心の先輩クラブから離れて居た事や、野田市の社会的特殊性もあって、十分な活動の成果を挙げ得なかったものと思います。併

し乍ら例え歩みは遅くとも特殊な社会環境の
タリ-精神が一層高揚される事を信じ喜びを感
ずる次第です。今日迄社会奉仕、国際奉仕、職業奉
仕の各活動分野に於ても野田は野田なりの努力
と情熱を注いで参りましたが野田に於てロータ
リークラブが出来て一番の収穫はクラブ奉仕の
面ではないでしょうか。今迄同じ市内に住み乍ら
殆ど顔を合わせないし余り直接の繋がりを持ち
得なかった人々が同じクラブの会員として毎週
親しく語り合い同じ奉仕活動に力を合せ、時には
今迄はお互いに知るよしもなかった家族までが
一緒に時を過す事の出来る様になった丈でも野
田の社会的特殊性から考えても大きな発展であ
り成果であると思います。

ロータリークラブは誕生した以上永遠の寿命を
持つものであります。我々は将来に向かって先般
柏原パストガバナーの云われた如く、此の十周年
を契機として今後会員の皆さんが例会へ出席す
る事も各種のロータリー活動をする事も楽しみ
と感じられる様そして地域社会が明るい楽しい
雰囲気にもまれる様になりされればロータリ
ークラブの存在は大成功だと思えます。

皆さんと共に今後ますます手に手をつないで奉
仕の理想の実現をお誓いして十周年の御挨拶と
致します。

とあります。ここに於いて感銘を受けるのは「野
田に於いてロータリークラブが出来て一番の収
穫はクラブ奉仕の面ではないでしょうか」との言
葉です。今、野田ロータリークラブは例会へ出席
する事も各種ロータリー活動をする事も楽しみ
と感じられる様そして地域社会が明るい楽しい
雰囲気にもまれる様になりたいと思えます。

◎御誕生祝い◎



大塚 賢治 会員 (9月 6日)
栗林 徹 会員 (9月 7日)
杉崎 良樹 会員 (9月20日)

◎御結婚祝い◎



家田 真人 会員 (9月4日)

【出席】今回分(9月5日)

会員58名中 48名出席(82.76%)

☺ニコニコボックス☺

中野祐三郎 会員

清水公園バーベキュー場並びに松風苑バーベ
キューをご利用頂きありがとうございました。

茂木佐平治 会員

東京の拠点であった明治神宮前のマンション
を息子にゆずる為、昨日きれいに片付けて引き揚
げました。これからの拠点は野田オンリーです！

古谷 光裕 会員

8月27日BSフジにて新護摩堂内の組紐パーテ
ーションと本堂内の様子が放送されました。

山本 和広 会員

8月29日フジTVドラマ「魔法のリノベ」で当社
施工の櫻木神社喜桜館がロケ地として採用さ
れました。

加藤 栄作 会員

バッジを忘れました。

杉崎 良樹 会員

誕生祝いありがとうございます。

栗林 徹 会員

誕生祝いありがとうございます。

大塚 賢治 会員

誕生祝いありがとうございます。

家田 真人 会員

結婚祝いありがとうございます。

早退 1名

幹事報告

森下 芳夫 幹事



- (1)本日は定例理事会を開催します。理事及びオブザーバーの皆様のお席をお願いします。
- (2)大澤会員のお母様のご会葬が行われました。謹んでお悔やみ申し上げます。
- (3)ガバナー月信9月号において大浦会員の紹介が掲載されております。内容をご確認ください。
- (4)ロータリーの友9月号に掲載されておりますが、創刊70周年記念特別企画として俳句コンテストが開催されます。奮ってご応募ください。
- (5)国際ロータリー第2790地区の地区大会(10/8、9)に21名の方が参加することになりました。詳細についてはまた後程お知らせします。
- (5)来週はクラブ協議会を実施します。野田ロータリークラブについて会員の皆さんに語り合っていたきたいと思います。

委員会報告

米山記念奨学会委員会

菊地 孝則 委員長



8月27日に今回はじめてZOOM併用開催という事で米山記念奨学委員長セミナーをやりました。今月は米山記念奨学バーベキューと旅行がありますので行ってまいります。

ロータリー財団委員会

大澤 康人 委員長



グローバル補助金奨学生の古賀怜衣さんより活動報告書をいただきました。皆様ご覧ください。

ゴルフ同好会 田中 鐘一 会長



10月13日(木)千葉カントリークラブ川間コースにて野田RCゴルフ同好会コンペを開催いたします。懇親会は幸楽さんにて、初茸パーティーを行いますので、ゴルフ不参加の方も大歓迎です。皆様のご参加お待ちしております。

親睦活動委員会 岡部 成行 委員長



8月29日夜間例会清水公園BBQには多くの会員の皆様にご参加いただきありがとうございました。次回は11月28日に夜間例会を予定しておりますので引き続き宜しくお願いいたします。

卓 話

宇山 嘉一 会員



1. 野田流通加工センター建設

弊社は2003年12月12日に野田市目吹に会社を移転しました。この日は父母の結婚記念日でもあり、大安でしたのでこの日に決めました。12月12日に因み、1歩2歩1歩2歩と頑張って進んでいこうと誓ったことを思い出します。前にもお話しをさせていただきましたが、弊社は流山市に本社を構え流山柏地区で物流業を営んでおりました。仕事の受注増とともに、倉庫、車庫など営業所が7カ所8カ所と分散し、仕事がやりづらく集約を考えていました。流山柏地区や旧の沼南町など、社員が通える範囲で様々な物件を探しましたが、広さや価格など合う場所がありませんでした。ある日、金融機関より野田市に広い場所があると紹介され、野田市目吹の場所を知ることになりました。敷地面積が5600坪ということで、今までにない広さと、建物も7棟ほど建っていたので、目的である集約には絶好と思いました。しかし問題点が2点ありました。①敷地内は空いているが調整区域で更なる建築はできない②敷地内に入るには、大型進入禁止の道路からしか侵入できない。という弊社にとっては非常にリスクのある条件と同時に、この条件だから買い手が決まらず、残っていた物件だとも思いました。しかし、その当時の弊社は現状を少しでも改善したい。大型車両は許可を取れば良いと判断し移転を決定しました。しばらくは集約をして通常に仕事をしておりましたが、弊社が移転したということで、顧客数社が見学に来られ、顧客の加工所の集約や、流通加工所の新設案などの話を持ちかけら

れました。これはまずい。建物を合法にて増築することと、大型車両、トレーラーの進入路がなければ、別の場所での提案をしない限全ての話はなくなると思い、すぐに動き始めました。幾度となく建築士や行政機関と打ち合わせを重ね、最終的には、建築基準法上適合していない建築物が存在していることも含め、是正計画を提出し、増築計画及び是正に伴う解体工事を行うことで、建築を認めていただきました。既存建築物の床面積の0.5倍以下の面積にて、建築計画が可能となりました。うれしい反面、使える建物にお金をかけて壊していくことはとても辛かったです。次に②の敷地内に入るには大型進入禁止の道路からしか侵入できない。という問題点についてです。弊社の土地が県道と10数メートル接触していると思われる区間がありました。道路と弊社の敷地とはかなりの高低差と、舗装がされていない土地がありました。県道管理者、千葉県行政機関重ね、舗装されていない土地が県の所有であったため、県道に合わせ盛土をする内容で、道路施工承認許可を取得しました。また、道路と敷地内とのレベル差を、スロープによる車路を敷地内に築造し解消することができました。この問題点の解消により流通加工センターとして顧客の要望に応えることができ、弊社としても代替地などの手当てをせずに計画を進めることができました。何事もあきらめずにやればできると思えました。また、運に感謝をしたいと思えます。

2. 関東ロジスティクスセンター建設

弊社は23年前から壁紙(クロス)の共同配送を始めました。壁紙は壁紙を製造する製造会社と壁紙を販売する販売メーカーがあります。製造会社は、全国に35社ほどあります。関東地区に12社ほどあり、販売メーカーの注文に応じて北海道、仙台、東京、名古屋、大阪、岡山、広島、九州などの販売メーカーのデポに毎日届けなければなりません。品種は数百種類あり、メーカーは各デポの在庫が切れないように、システムでの監視体制を構築し、不足分を製造会社に日々発注するシステムになっています。製造会社は自社倉庫や、近隣の倉庫会社に委託して出荷体制を整えています。壁紙とは取り扱いが厄介な商品で、1本13キロ程の重量があり、基本50メートル巻きです。包装は薄いクラフト紙1枚で、硬いところにぶつけるとすぐに傷がつき、紙なので雨に弱いという特性を持っています。大都市のデポ(東京、名古屋、大阪)は1

車チャーターで配送するので問題は少ないが、100キロから2トンまでは、チャーターで配送すると運賃比率が高くなるので、各製造会社は路線便を使用して、配送するしかありません。路線便は料金が安いですが、積み替えが多く、いろいろな物との混載するため、傷がつきやすいので、壁紙の配送には適さず、製造会社、販売メーカーともに困っていました。弊社は関東地区の1社の製造会社から、壁紙の保管、配送を請け負っていましたので経験もあり、その製造会社の営業さんの力添えも頂き、関東地区の製造会社3社の合意を受け共同配送に踏み切りました。運賃設定は壁紙のkgあたりに距離単価をかけた金額でした。路線便と同等の価格です。最初のうちは荷物も集まらず赤字が続きましたが、製造会社からは傷の返品がない。決まった早い時間に納品するので、販売メーカーから到着時間の問合せがない、など高く評価をいただきました。また、製造会社が個々に配送手配をすると、メーカーのデポの前に10数台の待機車両が並び、近隣からの苦情や、環境問題への意識も敏感になり、販売メーカー側も弊社の共同配送便にまとめる事で待機車両もなくなり、入庫する手間や時間の効率向上を考慮し、販売メーカーから製造会社に対し共同配送便に乗せて送ってほしいという要請が出始めました。こうして壁紙製造会社は次々に共同配送便を使うようになり、弊社と壁紙とは深く長い運命を共にすることとなりました。共同配送の拡大と共に製造会社より保管、配送業務の全てを請け負うケースや、流通加工の顧客よりアパレルの保管依頼が多くなり、自社倉庫、賃貸倉庫を含め6カ所の倉庫に分散するようになったことから、流山柏地区で仕事をしている状況と同じ様になってきました。仕事の終了時間は最終夜の10時を超え、効率は悪く悩んでいました。このままではいけないと思い集約を考え2015年から土地を探し始めました。社員が通える範囲内、顧客から遠くならない、できればインターチェンジに近いなどを考え、最終的に境・古河インターの開発地区に決定しました。壁紙の共同配送は、ばら積み、ばら卸し。種類も膨大と大変な仕事ですが継続していたからこそ、このセンターの着工に至るまでになりました。2019年11月より工事を着工しました。2020年に入り新型コロナウイルスが発生し、どうなってしまうのだろう。時期を間違えたか。と不安もありましたが、船は港から出発した。引き返せるわけではないと割り切り、建

築工事、コロナの状況、景気の動向を静観するしかありませんでした。この年は野田ロータリークラブでも富山前会長のもと、幹事の役をいただいていたので、大変印象深い年となりました。それから1年が経過し2021年2月26日に不安を抱えながら、関東ロジスティクスセンターという名称のもと、無事竣工することができました。西棟、東棟が自動ラック倉庫となっており、棚数は20,532棚。中央部分が3階建ての各階900坪の空調完備の倉庫となっております。コロナの影響や私の営業力不足ということもあり棚4,000、通常倉庫400坪ほど空いておりますので、営業活動に力を注いでいるところです。このセンターが完成することにより弊社の拠点は4ヵ所になりました。野田流通加工センター(野田市目吹)関東ロジスティクスセンター(境・古河インター)七光台倉庫(野田市七光台)車庫及び整備工場(野田市木野崎)。集約、自動化を図り、各センターは19時～19時30分ころまでに業務終了できるようになりホッとしているところです。しかし楽はさせてもらえません。次は運送業(運転手)の2024年問題が待ち構えています。2024年問題とは、働き方改革関連法により『時間外労働の上限規制』2024年4月

1日から適用されます。2023年4月1日からは割増賃金の引き上げもあり、現在はその対応に追われています。荷主、配車業務担当社員、運行管理者、ドライバーとの調整の上、徹底していかなければなりません。今年の4月より取り組みをはじめ徐々に改善されています。引き続き気を抜けない状況です。

3.私の今後の仕事

私は来年の1月5日で60歳の還暦になります。今後は次世代に権限を移行して行きます。自社株については、今回のタイミングしかないと思い、今年の1月に後継者に承継することができました。8年前は父から私への承継と、この10年で2回の承継を行いました。選択肢は増えてきましたが、いつまでこのようなやり方が続くのかと思うところです。今後は次世代に必要なと思われる仕事に力をいれていきたいと思えます。①SDGs宣言書に基づく取組み強化。②蓄電池付自家消費型太陽光発電(今期実行中)③脱炭素経営(弊社の数値の確定)④営業部署がないので営業の強化及び新規事業の強化。などに取り組みたいと思えます。纏まりませんがこの辺で終わりにしたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

野田RC定例理事会議事録		会長	浅野 泰泉				
開催日時	2022年9月5日						
開催場所	樺のホール 5F						
号	議 題				承認	否決	保留
1.	30年勤続出席会員の表彰について 勤続出席会員については野田クラブとして表彰する。				○		
2.	出席規定免除の取り扱いについて 2022年の規定審議会において、理事会承認が不要となりましたが、野田クラブにおいては従前どおり理事会承認事項とすること。				○		
3.	その他						

野田ロータリークラブ 例会・卓話予定表			
月 日	卓 話 ・ 行 事	月 日	卓 話 ・ 行 事
9月12日(月)	クラブ協議会	10月 9日(日)	地区大会
9月19日(月)	休日(敬老の日)	10月10日(月)	休日(スポーツの日)
9月26日(月)	会員卓話(伊東 真也会員)	10月17日(月)	会員卓話(田中 秀和会員)
10月 3日(月)	卓話(米山記念奨学会タン フィブン様)・理事会	10月24日(月)	移動例会